

## 課題① 部活動数の減少

H29  
102クラブ



R4  
86クラブ

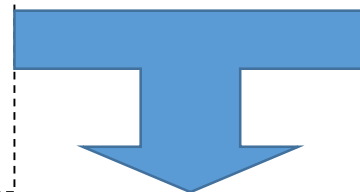
16クラブ減

学校名	廃部となった部活動（H29年度から）
第二中学校	柔道部、剣道部、水泳部、男子バレー部
第三中学校	柔道部
第四中学校	ソフトテニス部、コンピューター部、男子陸上部
第五中学校	バレー部、柔道部、剣道部
第七中学校	科学・理科部、園芸・緑化部、軟式野球部、バドミントン部
門真はすはな中学校	水泳部、柔道部、剣道部

## 課題② 教職員と生徒の現状

### 教職員

- 部活動に係る業務による多忙化。
- 休日を含めた長時間勤務の現状。
- 経験のない競技などの指導による心理的負担。



### 生徒

- 教職員数・生徒数の減少による廃部の増加。
- 競技経験のない顧問から専門的な指導が受けられない。

**持続可能な部活動と職員の負担軽減の両方を実現できる部活動改革**

# 地域移行に関する検討会議の動き

学校教育課  
令和4年8月29日

## 運動部（令和4年6月にスポーツ庁長官へ手交）

- ・まずは、休日の運動部活動から段階的に地域移行していくことを基本とする。
- ・目標時期：令和5年度の開始から3年後の令和7年度末を目途。
- ・平日の運動部活動の地域移行は、できるところから取り組むことが考えられ、地域の実情に応じた休日の地域移行の進捗状況等を検証し、更なる改革を推進。
- ・地域におけるスポーツ機会の確保、生徒の多様なニーズに合った活動機会の充実等にも着実に取り組む。
- ・地域のスポーツ団体等との連携・協働の推進。

- ・スポーツ団体等の整備充実
- ・大会の在り方
- ・スポーツ指導者の質・量の確保方策
- ・会費の在り方
- ・スポーツ施設の確保方策
- ・保険の在り方
- ・関連諸制度等の在り方

## 文化部（令和4年8月9日 第7回検討会議）

- ・運動部と同じ内容の提言が手交される予定。

改革の方向性

具体的な対応

# 門真市において考えられる地域移行のパターン

学校教育課  
令和4年8月29日

		A	B
パターンの内容		競技毎に、地域移行を実施する。 (センター集中型)	部活動指導員(地域人材)が学校で指導。
想定されるケース		部員が少ない、または教職員が顧問を担当できないなど、学校単位で部が成立しないケース。	教職員が顧問を担当できない、あるいは専門性がないケース。
課題	受け皿となる団体・個人等の確保	▲	△
	上記団体・個人の管理体制	△	△
	生活指導上の問題が生じたときの対応	△	○
	保護者の費用負担の可能性	▲	△
	教職員(顧問)の負担軽減	○	△
	活動場所までの移動	▲	○

▲：課題あり      △：条件により課題あり      ○：課題なし/できる

# 地域移行に向けた全体の検討課題

学校教育課  
令和4年8月29日

- ・運用を担う内部組織の構築
- ・地域移行が可能な団体や個人の確保
- ・教職員（顧問）の負担軽減効果（全日移行か、休日のみ移行か）
- ・生徒に関して学校との密な情報連携
- ・予算・費用の問題（国の補助金等の動向）
- ・生活指導の問題が生じた時の対応 等々